

Syndromic Surveillance

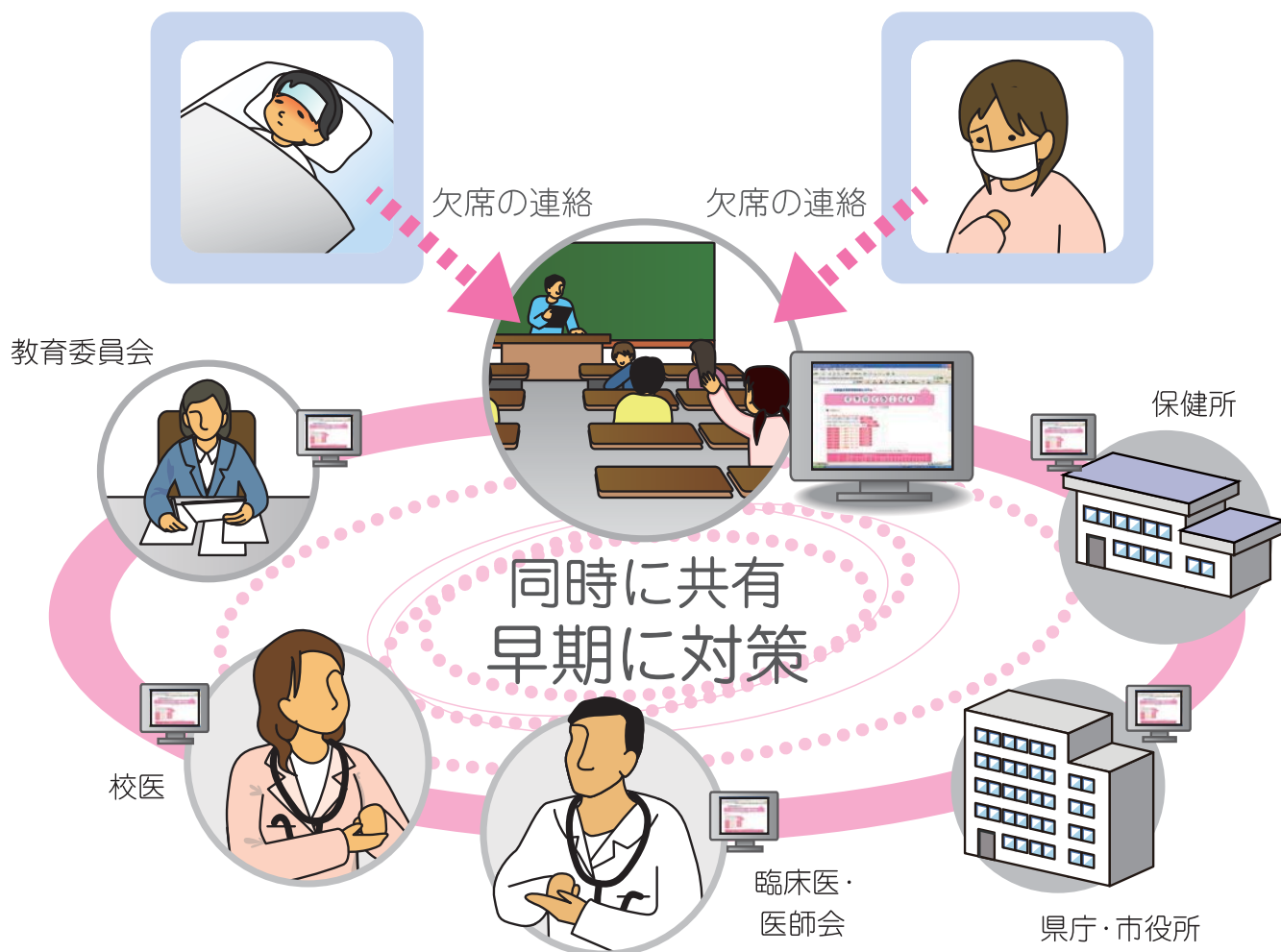
学校欠席者情報収集システム



感染症対策は、「記録」・「連携」・
「早期探知」が大事です。

季節によって、各学校で、どの程度の感染症流行があるのか
「ベースライン」を知っていれば、備えることができます。

インフルエンザ・ノロウイルス・
麻疹等の対策に有効



校内での感染症流行の兆しをとらえて、拡大するのを抑える新しいシステムが開発されました。

学校欠席者情報収集システム

学校欠席者情報収集システムとは、集団生活で、感染症が蔓延しやすい環境にある学校において、感染症による入院、死亡といった重症化を防ぐために集団発生を早期に探知し早期対応をするために、記録・連携・早期探知を一元化した新しいリアルタイムサーベイランスです。

子供の健康を
まもる活動を
支援します。

記録・連携・早期探知を一元化した新しいリアルタイムサーベイランス

● 感染症情報収集システム ●

出席停止
理由登録
欠席者入力/
臨時休校
登録
参照
自施設
情報
クラス
変更
臨時休業
印刷
インフルが
確認
地域の
状況
ログアウト
マニュアル

席・登校の別

- 出席停止
- 欠席・欠勤(診断されているが出席停止にならない場合及び教職員欠勤)
- 登校(診断されているが登校している場合)

理由: [検索欄]

感染性
[その他]
インフルエンザ
インフルエンザA型
インフルエンザB型
インフルエンザA(H1N1)2009
インフルエンザ(H7N9)
水痘(みずぼうそう)
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
咽頭結膜熱
百日咳
麻疹

期間: [検索欄]

2014
未定

日

2014年11月1日

出席等と初日の登録は必ずメニューの「」の画面で人数を手入力しても出席停止の人数には反映されません
※出席停止の人数には反映されません
2014年11月1日の出席停止人数の調整!

学年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
1 組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
2 組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

■紙を使いません。
インターネット上の安全なデータベースに入力します。



■各学校で記録
入力は毎日5分程度。



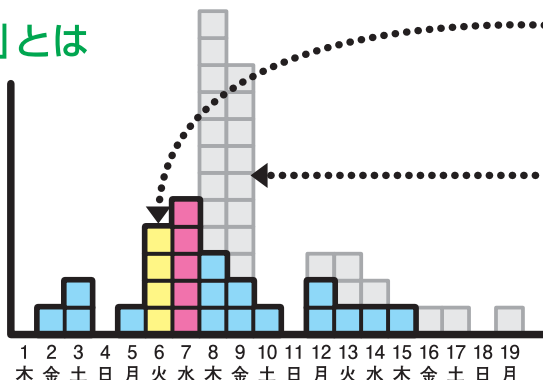
- 症状別：
発熱、頭痛、急性呼吸器症状、下痢・腹痛、嘔気・嘔吐、発疹、インフルエンザ様症状、その他
- 疾患名：
インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱、百日咳、麻疹、風疹、結核、腸管出血性大腸菌感染症、赤痢、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、ウイルス性肝炎、無菌性髄膜炎、髄膜炎菌性髄膜炎、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、突発性発疹、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水いぼ(伝染性軟疣(属)腫)、伝染性膿痂疹、アタマジラミ、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎以外のアデノウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、川崎病、その他感染症等

なぜ必要?

「早期探知」とは



欠席した
生徒・職員



この段階で早期探知していると、
専門家(校医・保健所)と連携して
7日には、早期に公衆衛生対応、
予防対策をすることができます。

感染拡大を防ぎます。

サーベイランス(記録)をしていると、
このような状況がすぐ把握できます。
この増加傾向(異常)を発見できます。
これが、「早期探知」です。
次にとるべきアクションにつながります。

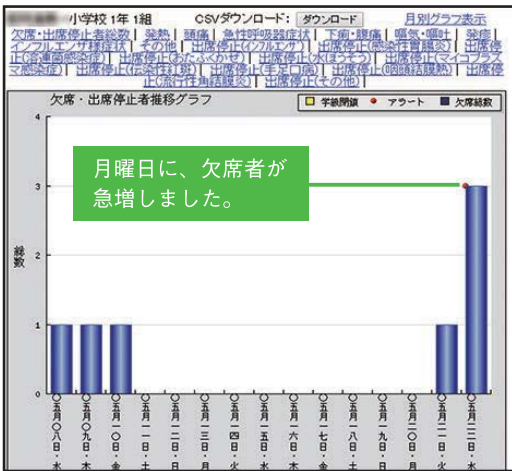
「学校欠席者情報収集システム」による感染症対策

●学校ごとに解析

解析資料(集計表、グラフ)を自動作成

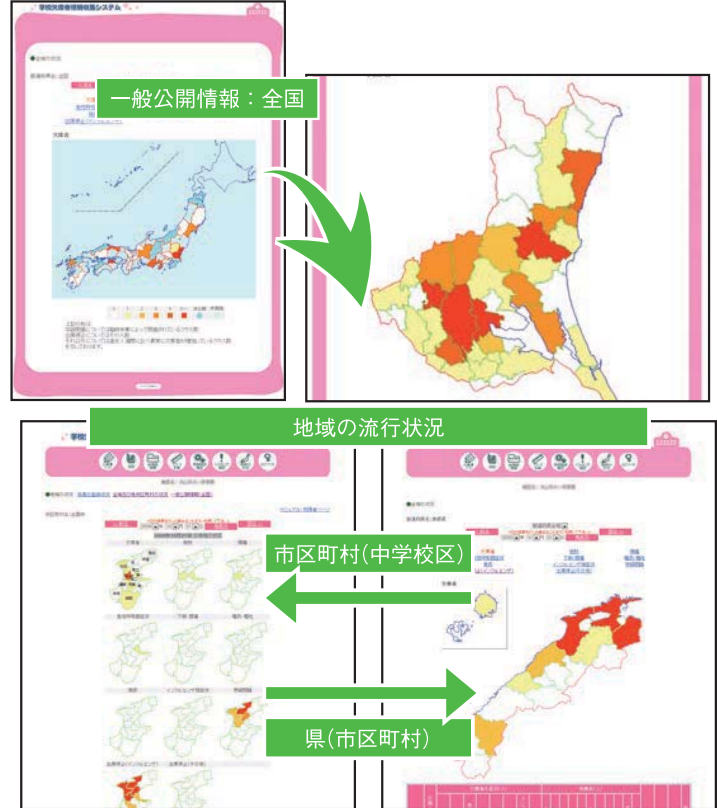


- 欠席者数・発症者数を入力(個人情報含みません)
- 年齢、クラス毎



●近隣の状況

中学校区の地図情報で地域の流行状況把握



●校医・保健所・教育委員会との連携

リアルタイムの情報共有
状況把握の説明なしに相談ができる
(予防の指導) → 早期対応で感染拡大防止へ
→ 臨時休業の早期判断へ

校内で流行が
はじまりそう。。。

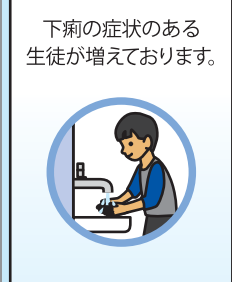


メリット
1

迅速な対応

校内での感染症流行拡大に迅速に準備

アラートが
でたり、特定
の疾患の
場合には
関係者に
メールで
知らせま
す。

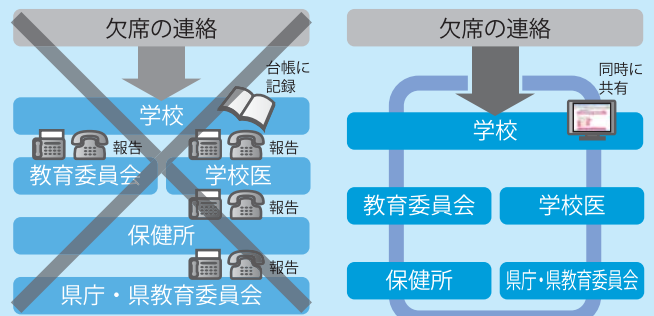


保健だより・職員会議等での情報提供

メリット
2

省力化

出席停止・臨時休業の書類をオンライン
で提出・月報の自動集計



デモ版のご案内

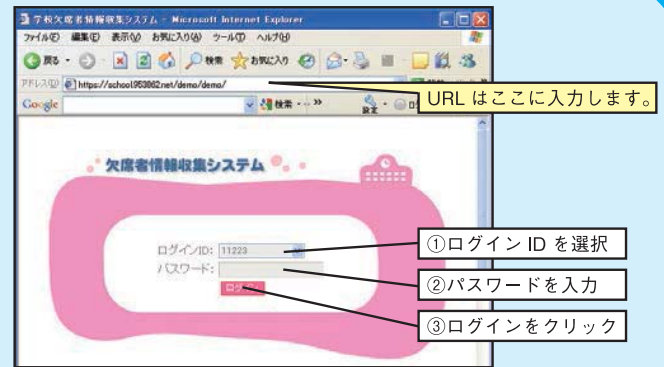
「デモ版」で、システムをみることができます

URL : <https://school.953862.net/demo/demo/>

ログイン ID : yamada

パスワード : yamada

※上記 URL 及び学校 ID、パスワードはデモ環境となりますので、他の利用者が入力値を変更される場合があります



詳しくはこちら

<http://www.syndromic-surveillance.net/hoikuen/>

+++++ セキュリティについて +++++

本システムは総務省が定めた「地方公共団体における情報セキュリティ監査に関するガイドライン*」に準拠しており、セキュリティ上の懸念はありません。

安全なインターネットを使い、ID、パスワードで保護しております。いたずら目的で侵入されることはありません。

個人情報を含んでいませんので、漏えいの心配はありません。

経営上の配慮から行政以外には保育園が特定化されないようにしております。

同じシステムを、現在（平成 26 年 10 月）全国 23 県 6 政令指定都市 2 特別区の小学校、中学校、高校で既に運用しており、セキュリティ上の問題は一度も発生していません。

ご心配な場合は、大日（おおくさ）まで直接お尋ねください。

* 参考 : http://www.soumu.go.jp/denshijiti/jyouthou_kansa/

現在「学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）」という名称で統一しています。

費用はかかりません。ソフトのインストールもいりません。

お問い合わせ

日本学校保健会

技術的支援のお問い合わせ

国立感染症研究所感染症疫学センター

メール : hoiku@nih.go.jp FAX : 03-5285-1129

感染症疫学センター主任研究官

大日康史（おおくさやすし）

メール : ohkusa@nih.go.jp

感染症疫学センター主任研究官

菅原民枝（すがわらたまえ）

メール : tammy@nih.go.jp

<http://www.syndromic-surveillance.net>

2014 年 10 月改変